

新春特集号 地域社会と共に歩む建設業界

地域インフラを守る 未来を支える建設力!



第 45 号

発行日 令和8年1月1日
編集発行 富士宮建設業協同組合
事業・広報委員会
印刷 フジ印刷(有)

信頼 協調 誠実

新年のご挨拶



富士宮建設業協同組合
理事長
河原崎建設(株)
河原崎 利光

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春をお祝い申し上げます。また組合員並びに関係各位の皆様におかれましては、日頃より当組合の運営にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は、富士宮市においては幾度となく台風による被害発生が懸念されましたが、大きな被害もなく比較的穏やかに過ごすことができました。しかし全国各地では自然災害が極端的に大きな被害をもたらすケースが見受けられました。昨秋9月5日台風15号の通過に伴って、牧之原市から吉田町にかけて発生した竜巻は、風速75メートルと推定され、気象庁は竜巻の強さを国内で過去最大級と発表しており、10月31日静岡県がまとめた被害状況は、両市町村合わせ、家屋の全壊76棟・半壊291棟・一部破損1,382棟・床下浸水9棟で合計1,758棟が被災するという大災害に

なっていました。特に牧之原市では全世帯中7・8%の方が被害にあわれ、電柱が軒並み道路に倒れ、多くの家屋の屋根が飛ばされた映像を目の当たりにして、自然災害の脅威を改めて感じざるを得ません。早急な復興支援に

より、住民の平穏な生活を取り戻していただくことを願います。

さて、2025年10月21日に日本憲政史上初、女性の第104代内閣総理大臣高市早苗氏が、大きな期待とともに誕生しました。「政策に期待ができる」「刷新感がある」と評価され、閣僚ポストには専門分野にたけた人材を配置し、スピード感を持った政策打ち出しております。

高市首相は所信表明演説で、「責任ある積極財政」の考えの下、戦略的な財政支出を行う方針を改めて示しました。静岡県選出の城内実衆議院議員は内閣府特命担当大臣(経済財政政策、規制改革)、日本成長戦略担当重要な役職に任命されました。それから復興大臣・国土強靱化担当他として、牧野たかお参議院議員が任命され静岡県民としては大いに期待を寄せるところです。首相は就任早々、経済政策の策定を指示し、物価高、人口減少、災害対策など複合的な課題を抱える中で公共インフラの整備や地域活性化が重要政策の柱になると見られていきます。これにより老朽インフラの改修・防災減災事業の強化・地方インフラへの重点投資が見込められ、建設土木業界にとって追い風になるのではないで

しょうか。

人々が安全で安心に暮らせる社会づくりの中心的な役割を果たす産業として、私も建設業には大きな使命があり、それに応えなければなりません。しかしながら、建設業就業者減少及び高齢化による人材不足の問題があります。古い考え方もありませんが、現場管理や技術者育成には経験が必要のため、一朝一夕では人材が育つことが出来ないと認識しております。今後の国を挙げての更なる大胆な政策を期待しております。

組合員の皆様及び関係各位の、ご健勝とご多幸をお祈りいたします。



年頭のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

昨年は石破総理から高市総理に代わり、政府の方針も一変致しました。所信表明演説でも述べられているように「責任ある積極財政」の考え方の下に、戦略的に財政支出を行い、所得を増やし、消費マインド、デフレマインドを改善し、増税せずとも税収を増加させることを目指す方針となりました。私もこの3年



新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健康やかに新年を迎えることとお慶び申し上げます。

富士宮建設業協同組合の皆様には、日頃から公共事業の円滑な推進をはじめ、本市の事業に多大なご協力をいただいております。ことに、心より感謝申し上げます。また、皆様にとりまして、今年1年が健康で希望に満ちた素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、全国的に過去に例のない危険な暑さとなり、人々の健康に深刻な影響を与え、激甚化する

豪雨災害も頻発しました。9月には、牧之原市から吉田町にかけて、台風15号による竜巻が発生し、多大な被害をもたらしました。本市においても、改めて自然の猛威を実感した1年となりました。

こうした中、市民の生命と財産を守るためには、防災・減災対策の一層の強化が必要であり、今後も安全・安心なまちづくりを進めてまいります。

また、万が一、大規模な自然災害が発生した際には、公共施設の早期復旧や復興において、富士宮建設業協同組合の皆様のご協力

が欠かせません。引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨今の建設業界は、未来を見据えた取り組みが活発化

の中で、労働力不足や高齢化といった深刻な課題を抱えています。建設業界のイメージ向上や働き

やすい環境の整備が急務となっており、市としては、建設産業における担い手の確保・育成のため、週休2日の推進や業務効率化を目指した情報共有システムの試行を実施しています。これにより、建設現場における労働環境を改善し、皆様には、市民一人ひとりが希望を持って働き、快適に暮らせる環境づくりを目指していただきたく、さらなるご協力をお願い申し上げます。

また、昨年8月には、外神東公園に県内最大級の大型遊具が無事完成し、供用が開始されました。今後も、(仮称)富士根交流センター建設や市民文化会館のリニューアル、道路・河川などの社会資本整備をはじめ、各種公共事業を着実に進めてまいりますので、引き続き皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

さらに、第5次富士宮市総合

計画は令和7年度をもって終了し、我がまち「富士宮」をより豊かなものとしていくため、令和8年度からは第6次富士宮市総合計画が開始します。富士山を誇りに暮らす人々が、互いに支え合うことで、市民一人ひとりが幸せを感じられるまちを共に創り上げるため、積極的な取り組みを行ってまいります。その実現のためには、富士宮建設業協同組合の皆様のご理解とご協力が不可欠であり、「富士山を心に 人の和と豊かな自然が織りなす 幸せを感じる富士宮の実現に向けてさらなるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、富士宮建設業協同組合のますますのご発展と組合員の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

余り「責任ある積極財政を推進する議員連盟」の事務局長長 静岡県では城内実大臣が顧問、若林洋平参議院議員が共同代表として活動する中で、長く続いたデフレからの完全脱却を目指す地方まで経済成長の実感を届けるには、国の柔軟な財政支出あるいは減税がまだまだ必要だと訴えてまいりました。なかなか理解が広まらなかったのですが、高市総理の誕生で「責任ある積極財政」の考え方が国の経済政策の柱となったことで、突然注目される立場となりました。株価も一気に5万円を超え、市場の期待も大きいものと感じますが、一方で高市政権の財政政策を否定的に論評する記事も

多く目に致します。それらに対しては正しい情報や考え方を基に、反論してまいりますが、結局は結果を出さなければなりません。強く豊かな日本列島にするという高市政権の方針の実現のために引き続き「責任ある積極財政」を進めてまいります。

先ずは物価高対策。ガソリン暫定税率の廃止に加え、高市総理の総裁選での主張であった軽油引当税の暫定税率も廃止が決まりました。加えて地方への交付金の額を増やして、地域ごとに違う物価高対策への対応に取り組みしております。減税も含めて選択肢を狭めず、スピード感のある対策に尽力致します。また今までトータル8年間続けた「防災減災国

土強靱化」事業は次期5か年で20兆円超の事業費となります。今後、物価高、労務費高騰を注視しつつ、必要な予算の確保で必要な事業がしっかりと行われるよう、引き続きライフワークとして取り組んでまいります。

さて、地元に関しては昨年も国道139号の渋滞緩和対策や国道469号の狭い区間の解消の実現に向けて取り組みをし、また富士山の火山砂防対策の継続要望による予算要望も行いました。その火山砂防対策に関連しては、昨年自民党の砂防議員連盟でも大沢扇状地をはじめとした富士山周辺の砂防事業の視察を行っていただきましたが、参加された方々は一様に規

衆議院議員

深澤陽一

富士宮市長 須藤 秀 忠

年頭のごあいさつ

富士宮市議会議長 佐野和彦



新年あけましておめでとうございます。

富士宮建設業協同組合の皆様には、健やかに新年を迎えるのにと、心からお慶び申し上げます。皆様方におかれましては、組合員各位の結束と協力のもと、社会基盤の整備や社会貢献活動を通じて、地域社会の発展と安心・安全なまちづくりにご尽力いただいておりますこと、市議会を代表し、心より御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、我が国における憲政史上初の女性首相の誕生が大きな出来事であり、一人の女性が国のトップに就いたという事実が留まらず、政治の場における多様性が新たな段階に進んだことで、国全体の価値観や社会の在り方に新たな風をもたらすものと考えます。高市首相には、これまでの枠組みにとらわれない柔軟な発想と、未来を見据えた力強い政策の実行により、人口減少や経済対策、そして地方の活性化といった喫緊の課題に対し、新たな解決策を提示してくれるもの、その手腕に大きく期待するところであります。さて、近年の地方の建設業全体の傾向として、人口減少や若

年頭のごあいさつ

静岡県議会議員 木内満



新年明けましておめでとうございます。令和8年の新しい年の始まりを心よりお慶び申し上げます。

富士宮建設業協同組合の各位におかれましては、平素より円滑且つ正確で高品質な公共工事の推進はもとより、災害時の迅速な緊急工事や様々なボランティア活動へのご協力を通じて、安心して暮らせる富士宮市の実現に多大なるご貢献を頂いておりますこと、県政に携わるものとして、また一人の市民として心より感謝申し上げます。

者の都市部への流出により、技術者の高齢化や次世代の担い手不足といった課題が顕在化しており、当市の建設業界においても同様の課題を抱えていると伺っております。建設業は、社会基盤の整備・維持管理や、災害発生時には復興・復興作業を一手に担う、市にとりまして欠かすことのできない基幹産業の一つであり、建設業の安定的な経営は、市民の安全・安心な暮らしを守るうえでも大変重要であると認識しております。そのような中、貴組合からは昨年、公共工事施工時期の平準化の促進など4項目の要望をいただきました。これらの要望は、公共工事の品質確保や建設業従事者の就労環境の改善、公正な競争の促進など、当市の建設業の健全で安定した経営基盤の構築に寄与するものと考えます。

市議会といたしましては、この度の要望等を踏まえ、市当局と連携を図りながら、建設業を取り巻くさまざまな環境整備に積極的に取り組んでまいりますので、貴組合におかれましては、業界全体の魅力向上を図りながら、次世代の人材の確保・育成に取り組みいただくとともに、富士宮市における持続可能な建設業界の実現に、引き続きお力を発揮していただきますようお願い申し上げます。本年の干支は「午（うま）」であります。「馬は古来より「勢い」の象徴とされており、このことから午年は「躍進の年」になるといわれています。

新しい年が、富士宮建設業協同組合にとってさらなる躍進の年となるよう祈念するとともに、組合員の皆様の一層のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

を意味するものではありません。実際、令和8年度の予算編成方針では、各部署に一律5・5%削減という厳しい目標は課せられていくものの、県議会自民改革会議の働きかけにより、公共予算については据置きの方針が通知されています。災害対策は、政治の最大の使命であり、最優先で取り組むべき事項です。着実なインフラ整備と災害対策のための予算を確保しながら、より実効性の高い整備が行えるように、県議会の立場から余念なく働きかけを行ってまいります。

県政においては鈴木知事からの「財政危機宣言」と言えるレベル」という県財政に関する危機感の表明に対し、不安を感じておられる方も多いと思います。このコメントはかなり誤解を生む内容だと思っております。今後中長期的な視野での財政健全化は必要状況ではあります。が、直ちに大幅な公共予算削減

の日本成長戦略担当大臣、牧野たかお復興大臣と3名が入閣しており、本県の課題を国に届ける有効な機会でもあります。特に牧野たかお復興大臣が兼務する国土強靭化担当大臣の役割は大きく、今後5カ年で20兆円強とも言われるインフラ更新、事前防災の予算編成が閣議決定されています。国土強靭化予算獲得に向け地方自治体側においても戦略的な予算編成が求められます。国・県・市の連携により国土強靭化を始めとする国予算の活用の一助になれるよう力を尽くしてまいります。

県政においては鈴木知事からの「財政危機宣言」と言えるレベル」という県財政に関する危機感の表明に対し、不安を感じておられる方も多いと思います。このコメントはかなり誤解を生む内容だと思っております。今後中長期的な視野での財政健全化は必要状況ではあります。が、直ちに大幅な公共予算削減



新年のご挨拶

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所長 光永健男

新年明けましておめでとうございます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えるのにと心よりお慶び申し上げます。あわせて、日頃より国土交通行政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。昨年は土砂災害の発生が少なかつたとはいえ、地球温暖化による災害の頻発化・凶暴化の傾向は続いています。一昨年11月の短時間での記録的豪雨にも見られるように、何時、何処で災害が発生

去年は土砂災害の発生が少なかつたとはいえ、地球温暖化による災害の頻発化・凶暴化の傾向は続いています。一昨年11月の短時間での記録的豪雨にも見られるように、何時、何処で災害が発生

去年は土砂災害の発生が少なかつたとはいえ、地球温暖化による災害の頻発化・凶暴化の傾向は続いています。一昨年11月の短時間での記録的豪雨にも見られるように、何時、何処で災害が発生

去年は土砂災害の発生が少なかつたとはいえ、地球温暖化による災害の頻発化・凶暴化の傾向は続いています。一昨年11月の短時間での記録的豪雨にも見られるように、何時、何処で災害が発生

去年は土砂災害の発生が少なかつたとはいえ、地球温暖化による災害の頻発化・凶暴化の傾向は続いています。一昨年11月の短時間での記録的豪雨にも見られるように、何時、何処で災害が発生

去年は土砂災害の発生が少なかつたとはいえ、地球温暖化による災害の頻発化・凶暴化の傾向は続いています。一昨年11月の短時間での記録的豪雨にも見られるように、何時、何処で災害が発生

いものがあります。国土省の他事務所では建設用3Dプリンターをもたれ式擁壁施工へ活用する事例もあります。富士砂防でも色んな技術を取り入れ、皆様に紹介できればと思っています。最後に事業PRです。砂防事業は山の中の工事が多く、あまり知られていませんが、一昨年4月に大沢川遊砂地工がスラッシュ雪崩の土砂約12万立米を捕捉して下流への流出を防いだように、地域の安全を守っています。

昨年8月25日には砂防事業促進議員連盟の国会議員14名の方々に大沢川遊砂地工などの工事現場をご覧いただきました。多くの方々に現場を訪れていただくことも、各種イベントへ参加や出前講座を通じて事業のPRに努めていきたいと思います。

結びに、富士宮建設業協同組合ならびに会員の益々の発展と、会員各位のご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

地域の持続的発展を支えるべく努めていますが、富士宮市内においても、国道469号精進川工区や都市計画道路田中青木線の整備、河川護岸の改修や急傾斜地対策施設の整備など、暮らしと産業を支える基盤づくりを推進しています。インフラは、社会経済の基盤であると同時に、災害時には命を守るセーフティネットでもあります。その重要性は、年を経るごとに一層高まっていると感じます。

どうか皆様には、平時は「縁の下」の力持ちとして地域を支え、非常時には「地域の黒柱」としてその力を発揮していただきたいと思ひます。人々の暮らしを陰から支える皆様こそ、真の地域のヒーローであります。

結びに、富士宮建設業協同組合のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、そして本年が更なる多岐にわたる御活躍の年となることを心より祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

結びに、富士宮建設業協同組合のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、そして本年が更なる多岐にわたる御活躍の年となることを心より祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

静岡県富士農林事務所長 深野 智恵子



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

富士宮建設業協同組合の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

また、平素より本県の農林行政の推進にあたり御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、近年の気候変動による酷暑によって、農作物だけでなく、人々の生活自体にも多大な影響が出る等、気の抜けない毎日が続きました。建設業界におかれましても、昨年から作業員の熱中症

対策が義務化するなど、その影響は計り知れないことと存じます。

しかしながら、全国では集中豪雨や台風等による自然災害が頻発しておりますが、富士宮市では大きな被害はなかったと聞いております。何よりでございます。

また、建設業協同組合の皆様には迅速な応急対応や復旧作業に御尽力いただくこととなり、昼夜を問わず地域の安全と暮らしを守るため、現場で活躍する皆様のお姿は、本県にかけがえのないものであり、心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、わたくしども富士農林事務所でも、地域の発展のため、富士宮市の資源の一つである農林業の生産力を高め、持続可能な生産活動の実現のため、農地や農業用施設、治山・林道など、地域の基盤整備と災害に強い農

山村づくりを進めております。

本年度の具体的な取組として、農業農村整備分野では、朝霧高原地区において、猪之頭の集落道の整備や、麓の農道整備、西富士用水の末端となる菅農飲雑用水のバイパスライン布設替え工事等を実施し、令和9年度での完了を目指しております。

また、基幹水利施設ストックマネジメント事業を活用し安居山頭首工地区の完了と、富士根揚水機場の付帯施設工の更新を進めてまいります。さらに、ため池等整備事業では、羽耐池地区で堤体の耐震対策補強工事に着手します。

なお、引き続き大倉川農地防災ダムの適切な管理・運用を行うとともに、本年度からダムの浚渫を行いまして、芝川流域の農地や住宅の洪水被害防止に取り組みます。

度は県土強靱化対策(治山)事業で富士宮市上稲子に谷止工を施工し、市道沿いの溪流の安定を図る予定です。また、林道事業では、森林資源の高度な利用、適切な保育管理の推進、住民の生活環境向上のため、天子山系西側斜面において、富士宮市佐折と上稲子の主要集落をつなぐ「天子ヶ岳線」の開通工事を継続しています。

新年あけましておめでとうございます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より富士宮市の上水道事業及び下水道事業に對しまして多大なる御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

近年、日本各地において地震、台風等の発生により多くの被害が発生し、住民生活に大きな被害を与えております。自然災害の頻発化、激甚化が進んでおり、豪雨、暴風、地震等の複合災害に

対しての備えや対応も不可欠となっております。また、昨年1月に埼玉県八潮市において発生した、下水道管の腐食を起因とする大規模な道路陥没事故や、水道管の老朽化に伴う漏水事故などにより、上下水道における老朽化対策の必要性が再認識され、ライフラインの点検・改修等の取り組みが進められており、改めて自然の脅威や、電気、水道・下水道などのライフラインの大切さを感じさせられたところです。

このような現状の中、建設業界を取り巻く環境も大きく変化しており、資材価格の高騰が続く、人件費の上昇、そして技術者の高齢化と担い手不足、事業の効率化は皆様が直面されている共通の課題であると認識しております。厳しい状況下で質の高い施工を維持し、社会インフラ

を支えておられるみなさまの努力に對し改めて敬意を表します。さて、富士宮市の上下水道事業に目を向けますと、上下水道事業におきましては、現行の「水道ビジョン」が令和7年度をもって計画期間が終了となることから、現在、新たに計画期間10年間の「富士宮市水道ビジョン」とする「富士宮市水道ビジョン改訂版」を策定しております。現行の水道ビジョンを踏まえつつ、策定における要点となる「安全」「強靱」「持続」のそれぞれの視点から、将来を見据えた施策課題について現状を把握し、取り組みべき事項、方策を示し解決に向けた基本施策を定めております。引き続き、施設の耐震化及び老朽管の布設替え等につきましても着実に実施してまいります。

下水道事業におきましては、「ストックマネジメント基本計画」に基づき、施設の長寿命化、管渠の点検・調査を行い計画的に維持・修繕及び改築を進め、下水道サービスを継続的に提供してまいります。併せて合併浄化槽への転換設置の推進にも取り組んでまいります。

また、「下水道事業経営戦略」において、中間見直しの時期となっており、これまでの実績を確認・分析し必要に応じ改定を行い、今後の経営の安定に向けた検討を進めてまいります。

上下水道事業は市民生活において必要不可欠なものであり、確実な事業推進に努めてまいります。そのためには、富士宮建設業協同組合の皆様御支援と御協力が不可欠であり、今後とも皆様のより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結び、富士宮建設業協同組合の益々のご発展と、皆様のご繁栄を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

富士宮市都市整備部長 湯澤 智



新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

貴組合におかれましては、平素より富士宮市の都市整備行政に對し格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、建設業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。資材価格の高騰や人材確保の難しさ、加えて働き方改革への対応など、現場では多岐にわたる課題に直面されていることと存じます。

そのような中にあっても、貴組合の皆様には地域のインフラを支える基幹産業として、日々の施工・維持管理・災害対応などにご尽力いただき、富士宮市の安全・安心なまちづくりに多大なる貢献をいただいております。ことに、改めて深く感謝申し上げます。

一方、近年は気候変動の影響による自然災害の激甚化が顕著となり、地域防災力の強化が喫緊の課題となっております。富士宮市におきましても、老朽化が進む社会資本の更新・耐震化をはじめ、災害に強いまちづくりを推進しており、特に市内の道路・橋梁・河川整備、公共施設の長寿命化など、計画的な維持管理を進めているところであります。これらの施策を着実に実行していくためには、地域事情を

熟知し、高い技術力と迅速な対応力を有する地元建設業者の皆様との連携が欠かせません。今後とも官民一体となつて、安全で持続可能な都市基盤の構築に取り組んでまいりたいと考えております。

また、建設産業の持続的発展のためには、若年層の入職促進と人材育成も極めて重要です。本市としても、学校や関係機関と連携しながら、地域の建設業の魅力発信や技術継承の支援に努めてまいります。貴組合の皆様におかれましても、次代を担う人づくりに引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新しい年を迎え、富士宮市は、今後10年間にわたる「第6次富士宮市総合計画」を策定中であり、将来都市像として「富士山

新年のごあいさつ

総務・金融委員会 委員長 横大石 清英 基



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

を心に 人の和と豊かな自然が織りなす 幸せを感じる富士宮市の理念の実現を目指し、都市整備行政を一層推進してまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、組合員並びに関係各位の皆様におかれましては、日頃より当組合の円滑な運営及び活動に多大な御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は2つの大規模なインフラの老朽化による事故が相次いで発生し、日本のインフラ老朽化への関心が高まった1年でした。1つは1月28日に埼玉県八潮市で起きた道路陥没により通行中の4トントラックが転落し、運転手は事故から100日を超える時間を要して発見されました。事故現場はさらに陥没が拡大し、地盤の不安定さと下水道管からの漏水が原因とみられ、水位を下げるためのバイパス工事が進められているものの、復旧には数年かかる見通しです。周辺住民は現在も工事に

よる騒音や硫化水素による臭いや金属類の変色等に悩まされている状況です。もう1つは4月30日に京都市下京区で発生した大規模冠水事故で、1959年に設置された配水管が破裂し、近隣の住民の生活に大きな支障が出ました。

いずれも老朽化した上下水道・配水管が原因とみられており、上下水道インフラの脆弱性が問題となりました。日本では、1960年代から1970年代の高度経済成長期に整備されたインフラが、設計寿命の50年を超え全国的にリスクが高まっています。

しかしながら、水道管の年間更新率はわずか1%未満にとどまっております。予算の不足、技術者の高齢化、人材不足などにより、手が回らない状況です。

予算を沢山つけて、人を増やし、整備していかねばならないところは沢山あるのにもかかわらず、日本全体で少子化は確実に進んでおり、建設業界に若者達が入ってこないと言われております。ところが、2024年の建設業界への新卒就職者数は約173万人と2013年の約127万人と比べ1.4倍と増加しています。女子大学や専門学校では次々と建築学科が開設されております。今の人手不足は建設業界の需要の増加により、若者達が都市部に集ったことで起きています。

我々のような地方の建設会社若者達に選ばれるために必要なことは、会社の業績が良く、将来性があることはもちろんです。

新しい年を迎え、決意を新たに富士宮建設業協同組合の一員として地域建設業の役割を果たしていきたいと思っております。本年もよろしくお願いたします。

新しい年を迎え、決意を新たに富士宮建設業協同組合の一員として地域建設業の役割を果たしていきたいと思っております。本年もよろしくお願いたします。

新年のごあいさつ

土木・舗装委員会 委員長 佐野藤建設(株) 佐野 哲也



新年明けましておめでとう御座います。

組合員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。昨年中も各関係機関の皆様及び当組合員の皆様には大変御世話になり感謝申し上げます。去年の夏は全国で記録的な猛暑となり、やっとう長い夏が過ぎたと思いましたが、秋の季節を感じさせず冬を迎えた気がします。世界的に各国様々な地球温暖

AIは人材不足の救世主となりえるか？

建築・安全委員会 委員長 佐野喜郎



新年あけましておめでとうございませう。

旧年中は格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。近年、建設業界を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。

少子高齢化による人手不足、資材価格の高騰、環境負荷低減への要請など、従来の延長線上では対応しきれない課題が山積です。その中で、注目されているのがChatGPTをはじめとする「AI（人工知能）」の活用です。AIはもはや一部の先進企業だけのものではなく、現

化対策としての活動を努めている状況ではありますが、長年にわたり経済成長のために環境保全を顧みず自然破壊を繰り返して来たしつぱ返しが、徐々にではなく、ここ数年大きな波となつて世界中の気候変動となり様々な自然災害をもたらしている様な気がします。日本国内に於いても今までは考えにくいほどの豪雨、豪雪、竜巻、猛暑等現在のインフラ整備では対応出来ない自然災害が多々発生しております。

から立ち向かう事は出来ません。我々建設業は、この気候変動化がもたらす自然災害から人々の生活を守るため、この先起こりうる自然災害を極力小さなものとし、また起きてしまった災害に対しては、極力迅速に災害復旧を行い、人々の生活を平常に戻すという事が、われわれ建設業の使命だと思っております。さて、この地域社会の守り手として必要不可欠な建設業ですが、私は近い将来の建設業の危機を感じております。担い手不足です。将来を担う若者が建設業に興味を示さず、我々建設業の現状は高齢化する一方です。今後ますます少子化社会となり人手不足が目に見えている中、若い者に興味をもつて貰えませんか。昨今の建設業はIT化や機械化が進み昔の様な危険、汚い、

きついなどの労働は減っておりません。建設業の必要性、重要性、格好良さを若者の心に響く様に上手くアピールし、将来の建設業を背負って立つ若い人材が、一人でも多く育つて頂きたいと願っております。

また、我が国の政治に目を向けますと、長年の連立与党が分裂し、新たな連立与党となり定数議席の面からだと法案、予算案など速やかに議決されることと難しくなるのではと思いが、今までのがらみで、我が国の政治の流れ及び我々国民の生活が、明るい方向へ転がって行く事を願います。

結びに、組合員の皆様及び関係各位のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

図1の説明
建設業許可業者数（以下単に業者数）は、建設業許可期間が平成6年12月に3年から5年間に延長された関係で、許可期間5年の途中で廃業しても許可抹消手続きをしない事が多い為に、3年減少し2年増加する周期で変化してきた。全国では一番多かった平成12年3月末以降、業者数は減り続けて来たが平成30年を底として増加に転じ、令和7年も増加している。

図2の説明
このグラフは、都道府県別で業者数最大時対比の、減少率データを図表化したもののだが、まずは静岡県に注目してもらいたい。平成20年を境に全国平均より急激な減少傾向を示しているのが、静岡県だけ。平成22年にはグラフの一番上、つまり最大時対比減少率で全国47位。言い方を換えれば全国一建設業者が減少していない県となった。その傾向は平成25年まで続いたのだが、平成26年で潮目が変わった。以後、加速度的に減少率は増え続け、ついに令和2年には全国平均を上回ってしまった。

表1の説明
全国では、表右端1サイクル5年の「期間内変化率」の推移に注目。令和2年時の5年間の変化率▲0.09%と比べると、令和7年時の5年間は2.38%増で、平成13年に減少傾向に入ってから5年サイクルで初めて増加となった。令和3年から本来ならば減少サイクルとなる3年間に0.17%増加し令和6・7年の2年間で0.9%増加と、明らかに減少から増加傾向に変わってきている。業者数は

場と経営の両面で欠かせないインフラになりつつあります。設計の分野では、BIMやAIを組み合わせた自動設計・最適化が進み、構造やコスト、環境性能を同時に比較できる時代となりました。生成AIによるパース作成や意匠提案も一般化し、設計者の思考を支援するツールとして広がっているようです。AIが描く建築イメージを起点に、私たちは人間にしかできない「意味づくり」へと時間を使えるようになりつつあります。

維持管理の分野でも、AIによる外壁や橋梁のひび割れ検知が実用化され、点検作業の効率化が進んでいます。今後は、AIが劣化を予測し、修繕計画を自動提案する仕組みも一般化するでしょう。建物を「つくる」から「守る」まで、AIが継続的に関わる時代です。

さらに、経営や事務の領域でもAI化が加速しています。積算や見積、契約書の処理、労務管理など、デスクワークを支えるAIが業務効率を飛躍的に高めています。現場と本社のデータが一気通貫でつながることで、意思決定のスピードも大きく変わりつつあります。こうした技術革新の本質は、

表1の説明
全国では、表右端1サイクル5年の「期間内変化率」の推移に注目。令和2年時の5年間の変化率▲0.09%と比べると、令和7年時の5年間は2.38%増で、平成13年に減少傾向に入ってから5年サイクルで初めて増加となった。令和3年から本来ならば減少サイクルとなる3年間に0.17%増加し令和6・7年の2年間で0.9%増加と、明らかに減少から増加傾向に変わってきている。業者数は

図2の説明
このグラフは、都道府県別で業者数最大時対比の、減少率データを図表化したもののだが、まずは静岡県に注目してもらいたい。平成20年を境に全国平均より急激な減少傾向を示しているのが、静岡県だけ。平成22年にはグラフの一番上、つまり最大時対比減少率で全国47位。言い方を換えれば全国一建設業者が減少していない県となった。その傾向は平成25年まで続いたのだが、平成26年で潮目が変わった。以後、加速度的に減少率は増え続け、ついに令和2年には全国平均を上回ってしまった。

表2の説明
この表は、対前年比減少率を、都道府県順位で並べたもののだが、静岡県は平成26年の28位から27年に全国2位、翌28年と29年は不名誉ながら2年連続減少率全国1位である。令和6年からは従前のレベルにまで戻って来た感がある。全国平均では業者数の減少は止まり、増加に転じているのだが、近年、静岡県では加速度的に減少してきた。なぜ、静岡県だけが特殊な傾向を示しているのかは皆さんの判断に任せるが、過去、愛知県と同じ様な傾向で有ったのが、平成26年を境に二分した。グラフを見る限り減少傾向は止まったように見えるが、来年は減少と成る年回りとなるので注視したいと思う。

災害が多発している近年、防災や復旧の担い手として、また地域の次世代の建設業を担っていく為に、組合員が一致団結し、生き残っていくしかない。（図1・2、表1・2は次ページを参照ください）

建設業許可業者数の推移

建築・安全委員会 担当理事 (株)三与建設 三尾 祐一



新年明けましておめでとうございます。統計資料に基づいた分析が恒例と成っておりますので、本年も投稿させていただきます。

平成11年度末60万社の最大数から令和7年3月末に約48・37万社となり、最大数からは19・51%減まで回復。

対して静岡県内では、本来増える年回りであるはずの平成27年から令和5年まで9年連続の減少となったが、令和6年に増加に転じ令和7年も増加している。最大時対比の減少率は全国平均を上回る21・21%減。

図1の説明
建設業許可業者数（以下単に業者数）は、建設業許可期間が平成6年12月に3年から5年間に延長された関係で、許可期間5年の途中で廃業しても許可抹消手続きをしない事が多い為に、3年減少し2年増加する周期で変化してきた。全国では一番多かった平成12年3月末以降、業者数は減り続けて来たが平成30年を底として増加に転じ、令和7年も増加している。

図2の説明
このグラフは、都道府県別で業者数最大時対比の、減少率データを図表化したもののだが、まずは静岡県に注目してもらいたい。平成20年を境に全国平均より急激な減少傾向を示しているのが、静岡県だけ。平成22年にはグラフの一番上、つまり最大時対比減少率で全国47位。言い方を換えれば全国一建設業者が減少していない県となった。その傾向は平成25年まで続いたのだが、平成26年で潮目が変わった。以後、加速度的に減少率は増え続け、ついに令和2年には全国平均を上回ってしまった。

表1の説明
全国では、表右端1サイクル5年の「期間内変化率」の推移に注目。令和2年時の5年間の変化率▲0.09%と比べると、令和7年時の5年間は2.38%増で、平成13年に減少傾向に入ってから5年サイクルで初めて増加となった。令和3年から本来ならば減少サイクルとなる3年間に0.17%増加し令和6・7年の2年間で0.9%増加と、明らかに減少から増加傾向に変わってきている。業者数は

図2の説明
このグラフは、都道府県別で業者数最大時対比の、減少率データを図表化したもののだが、まずは静岡県に注目してもらいたい。平成20年を境に全国平均より急激な減少傾向を示しているのが、静岡県だけ。平成22年にはグラフの一番上、つまり最大時対比減少率で全国47位。言い方を換えれば全国一建設業者が減少していない県となった。その傾向は平成25年まで続いたのだが、平成26年で潮目が変わった。以後、加速度的に減少率は増え続け、ついに令和2年には全国平均を上回ってしまった。

表2の説明
この表は、対前年比減少率を、都道府県順位で並べたもののだが、静岡県は平成26年の28位から27年に全国2位、翌28年と29年は不名誉ながら2年連続減少率全国1位である。令和6年からは従前のレベルにまで戻って来た感がある。全国平均では業者数の減少は止まり、増加に転じているのだが、近年、静岡県では加速度的に減少してきた。なぜ、静岡県だけが特殊な傾向を示しているのかは皆さんの判断に任せるが、過去、愛知県と同じ様な傾向で有ったのが、平成26年を境に二分した。グラフを見る限り減少傾向は止まったように見えるが、来年は減少と成る年回りとなるので注視したいと思う。

災害が多発している近年、防災や復旧の担い手として、また地域の次世代の建設業を担っていく為に、組合員が一致団結し、生き残っていくしかない。（図1・2、表1・2は次ページを参照ください）



富士宮の建築金物と工具のプロショップ
和泉屋カネコー
静岡県富士宮市北町17-8 TEL(0544)24-6136 FAX(0544)23-2901

あなたを守る保険のパートナー
三井住友海上HGA代理店
株式会社 エージェントうさみ
エージェントうさみは、保険という仕事を通じ、人と人が助け合い、支え合う安全で安心な地域づくりを目指します。
〒418-0061 静岡県富士宮市北町2-21
TEL 0544-26-3565 FAX 0544-28-0656
https://agent-usami.com/

日本産業規格表示認証工場
エーユー生コン株式会社
代表取締役 加藤 雄二
〒418-0112 静岡県富士宮市北山字貫間508番地
出荷 (0544) 58-0707
事務所 (0544) 58-0709
試験室 (0544) 58-0708・FAX (0544) 58-0632

県民の生命・財産を石材で守る
株式会社 後藤
代表 TEL (0544) 66-0165
FAX (0544) 67-0147
誠意を品質に託して
後藤碎石販売株式会社
砕石部 TEL (0544) 66-0501 FAX (0544) 67-0147
砕石部 TEL (0544) 57-0353 FAX (0544) 29-3765
生コン部 TEL (0544) 67-0510 FAX (0544) 67-0560

(図-1) 建設業許可業者数の推移 (毎年3月末) ※平成12年が業者数最大値



対前年度変化数	全国	8,752	0.901%
	静岡県	209	0.776%

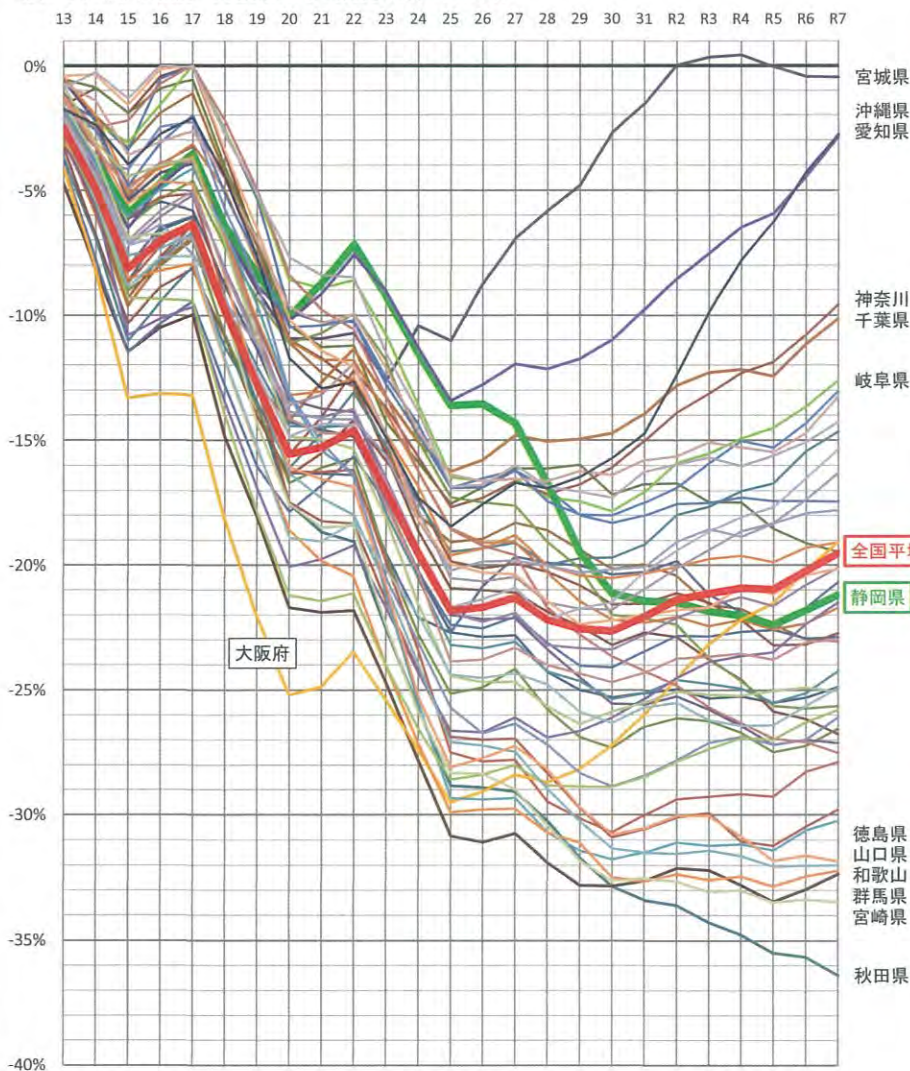
(表-1) 業者数最大時からの推移

	全国	業者数	前年比	期間内		最大比	期間内	
				平均値	最大値		変化率	最大値
平成12年	2000	600,980	←業者数最大					
平成13年	2001	585,959	-2.50%			-2.50%		
平成14年	2002	571,388	-2.49%			-4.92%		
平成15年	2003	552,210	-3.36%	-2.78%		-8.12%	-8.12%	
平成16年	2004	558,857	1.20%			-7.01%		
平成17年	2005	562,661	0.68%	0.94%		-6.38%	1.89%	-6.38%
平成18年	2006	542,264	-3.63%			-9.77%		
平成19年	2007	524,273	-3.32%			-12.76%		
平成20年	2008	507,528	-3.19%	-3.38%		-15.55%	-9.80%	
平成21年	2009	509,174	0.32%			-15.28%		
平成22年	2010	513,196	0.79%	0.56%		-14.61%	1.12%	-8.79%
平成23年	2011	498,806	-2.80%			-17.00%		
平成24年	2012	483,639	-3.04%			-19.52%		
平成25年	2013	469,900	-2.84%	-2.90%		-21.81%	-8.44%	
平成26年	2014	470,639	0.16%			-21.69%		
平成27年	2015	472,921	0.48%	0.32%		-21.31%	0.64%	-7.85%
平成28年	2016	467,635	-1.12%			-22.19%		
平成29年	2017	465,454	-0.47%			-22.55%		
平成30年	2018	464,889	-0.12%	-0.57%		-22.64%	-1.70%	
平成31年	2019	468,311	0.74%			-22.08%		
令和 2年	2020	472,473	0.89%	0.81%		-21.38%	1.63%	-0.09%
令和 3年	2021	473,952	0.31%			-21.14%		
令和 4年	2022	475,293	0.28%			-20.91%		
令和 5年	2023	474,948	-0.07%	0.17%		-20.97%	0.52%	
令和 6年	2024	479,383	0.93%			-20.23%		
令和 7年	2025	483,700	0.90%	0.92%		-19.51%	1.84%	2.38%
		8,752 対前年度増減数						



	静岡県	業者数	前年比	期間内		最大比	期間内	
				平均値	最大値		変化率	最大値
平成12年	2000	17,477	←業者数最大					
平成13年	2001	17,140	-1.93%			-1.93%		
平成14年	2002	16,809	-1.93%			-3.82%		
平成15年	2003	16,439	-2.20%	-2.02%		-5.94%	-5.94%	
平成16年	2004	16,653	1.30%			-4.71%		
平成17年	2005	16,860	1.24%	1.27%		-3.53%	2.56%	-3.53%
平成18年	2006	16,350	-3.02%			-6.45%		
平成19年	2007	16,018	-2.03%			-8.35%		
平成20年	2008	15,716	-1.89%	-2.31%		-10.08%	-6.79%	
平成21年	2009	15,952	1.50%			-8.73%		
平成22年	2010	16,222	1.69%	1.60%		-7.18%	3.22%	-3.78%
平成23年	2011	15,865	-2.20%			-9.22%		
平成24年	2012	15,463	-2.53%			-11.52%		
平成25年	2013	15,095	-2.38%	-2.37%		-13.63%	-6.95%	
平成26年	2014	15,106	0.07%			-13.57%		
平成27年	2015	14,972	-0.89%	-0.41%		-14.33%	-0.81%	-7.71%
平成28年	2016	14,552	-2.81%			-16.74%		
平成29年	2017	14,070	-3.31%			-19.49%		
平成30年	2018	13,782	-2.05%	-2.72%		-21.14%	-7.95%	
平成31年	2019	13,730	-0.38%			-21.44%		
令和 2年	2020	13,721	-0.07%	-0.22%		-21.49%	-0.44%	-8.36%
令和 3年	2021	13,658	-0.46%			-21.85%		
令和 4年	2022	13,628	-0.22%			-22.02%		
令和 5年	2023	13,562	-0.48%	-0.39%		-22.40%	-1.16%	
令和 6年	2024	13,665	0.76%			-21.81%		
令和 7年	2025	13,771	0.78%	0.77%		-21.21%	1.54%	0.36%
		209 対前年度増減数						

(図-2) 都道府県別 業者数ピーク時対比の減少率の推移



(表-2) 対前年比 減少率順位

順位	ピーク対比 令和7年3月末	減少率	対前年比 減少率順位															
			26	27	28	29	30	31	R2	R3	R4	R5	R6	R7				
47	宮城県	-0.47%	北海道	12	16	8	21	25	13	11	11	25	23	14	21			
46	沖縄県	-2.77%	青森県	22	7	31	23	13	29	5	5	4	1	4	2			
45	愛知県	-2.86%	岩手県	44	39	46	38	8	25	9	8	21	5	2	4			
44	神奈川	-9.58%	宮城県	47	47	47	47	47	42	45	29	24	19	5	11			
43	千葉県	-10.13%	秋田県	21	5	13	2	5	1	4	6	10	6	6	1			
42	岐阜県	-12.61%	山形県	32	35	39	20	12	15	2	3	19	12	1	9			
41	滋賀県	-13.04%	福島県	46	46	40	35	24	10	22	2	5	10	3	13			
40	大分県	-13.25%	茨城県	7	21	38	24	14	9	20	13	6	4	10	23			
39	鹿児島	-14.28%	栃木県	34	42	4	8	20	41	19	19	11	7	19	30			
38	埼玉県	-14.66%	群馬県	8	27	11	14	33	16	30	20	7	9	25	28			
37	熊本県	-15.36%	埼玉県	30	23	28	39	36	30	44	32	40	38	44	29			
36	福岡県	-16.29%	千葉県	41	45	41	37	39	35	41	34	27	27	42	36			
35	山梨県	-17.45%	東京都	15	31	20	17	30	33	31	21	31	35	37	40			
34	香川県	-17.80%	神奈川	38	38	35	42	43	43	40	40	42	40	39	41			
33	大阪府	-19.07%	新潟県	11	6	10	13	1	6	3	1	2	3	8	15			
32	三重県	-19.08%	富山県	13	11	15	9	9	8	18	9	8	8	15	7			
31	岩手県	-19.46%	石川県	17	24	16	27	15	18	26	16	17	13	21	35			
30	広島県	-20.11%	福井県	3	10	18	10	16	7	14	12	33	17	18	26			
29	長崎県	-20.15%	山梨県	26	36	34	15	26	20	21	23	32	31	9	10			
28	東京都	-20.68%	長野県	20	13	9	5	4	22	25	28	1	29	34	33			
27	静岡県	-21.21%	岐阜県	18	18	33	33	22	36	43	33	39	42	31	38			
26	兵庫県	-21.49%	静岡県	28	2	1	1	2	3	8	14	18	18	26	25			
25	福井県	-21.71%	愛知県	43	41	44	41	44	45	42	44	45	44	45	46			
24	茨城県	-22.73%	三重県	35	33	17	28	29	14	16	31	29	25	24	17			
23	福島県	-22.89%	滋賀県	37	25	19	25	34	28	28	45	44	26	36	44			
22	愛媛県	-22.99%	京都府	4	17	3	22	17	37	35	26	26	32	41	22			
21	山形県	-23.06%	大阪府	42	43	37	46	46	47	46	46	46	46	46	43			
20	石川県	-24.25%	兵庫県	23	37	29	40	42	38	38	39	34	36	43	34			
19	北海道	-24.88%	奈良県	24	15	7	18	21	21	23	17	22	22	38	20			
18	佐賀県	-24.91%	和歌山	31	12	22	26	3	5	17	15	30	15	22	19			
17	高知県	-25.06%	鳥取県	1	28	27	7	18	27	33	43	35	21	16	37			
16	新潟県	-25.64%	島根県	2	3	2	12	11	2	1	4	9	11	7	3			
15	岡山県	-25.80%	岡山県	33	29	26	36	35	26	32	38	37	33	29	24			
14	鳥取県	-26.09%	広島県	5	26	12	34	31	32	34	35	36	20	33	27			
13	栃木県	-26.55%	山口県	14	4	5	6	7	4	7	27	14	16	11	12			
12	青森県	-26.77%	徳島県	40	34	23	3	6	19	27	22	3	2	17	5			
11	富山県	-27.12%	香川県	39	14	43	30	37	11	39	36	13	45	20	16			
10	島根県	-27.52%	愛媛県	29	32	32	29	23	24	29	25	28	28	28	14			
9	京都府	-27.87%	高知県	10	9	24	19	41	23	24	18	20	37	13	6			
8	長野県	-29.79%	福岡県	19	20	25	31	32	39	36	41	41	39	35	39			
7	奈良県	-30.24%	佐賀県	16	22	36	11	19	34	12	7	15	34	32	32			
6	徳島県	-31.85%	長崎県	6	8	21	16	38	17	13	24	43	24	30	18			
5	山口県	-32.00%	熊本県	36	30	14	45	40	46	37	42	38	41	40	42			
4	和歌山	-32.23%	大分県	9	19	45	43	28	31	10	37	16	30	27	47			
3	群馬県	-32.34%	宮崎県	25	1	6	4	10	12	6	10	23	14	12	8			
2	宮崎県	-33.47%	鹿児島	27	40	30	32	27	44	15	30	12	43	23	31			
1	秋田県	-36.38%	沖縄県	45	44	42	44	45	40	47	47	47	47	47	45			
	全国平均	-19.51%																

市への要望書提出

富士宮市長 須藤秀忠様
富士宮市議会議員 佐野和彦様

要望書

日頃より、富士宮市政発展のため日々の多大なるご尽力に心より敬意を表します。また、富士宮建設業協同組合に対しましては、ご指導、ご鞭撻を賜わるとともに、公共事業関係予算の確保につきましても、平素よりご尽力いただいていることに対し、心より厚く御礼申し上げます。

さて、今年の1月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故は、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラの老朽化が加速度的に進行し、適切に対応しなければ、コストの増大のみならず、我が国の社会経済システムが機能不全に陥る懸念があることを示しています。また、大地震や豪雨等の自然災害はいつ発生するかわかりません。

このような事から国は、国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持することができるよう、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図るとしています。

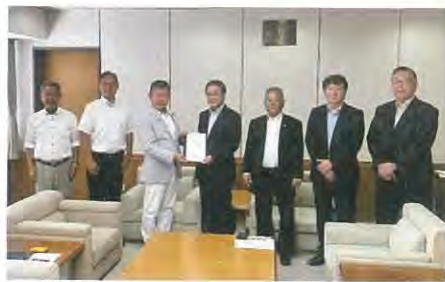
また、トランプ関税問題や不安定な世界情勢によるエネルギー・資材等の価格高騰や供給懸念を招き、この先も物価動向等の見通しは大変難しい状況であります。このように、地域建設業の安定的な継続も大変な時代となってまいりましたが、安全・安心に暮らせるまちづくりの中心的な役割を果たす産業として、建設業には大きな期待が寄せられています。

しかしながら、一方では深刻化している担い手不足や生産性の向上、働き方改革など、地域建設業にとって克服すべき課題は山積しており、これらの解決に向けては、引き続き積極的な取り組みが求められています。

このような状況の中、我々建設業協同組合は地域の安全・安心を確保する社会的使命を今後も継続して果たしていかなければなりません。そのため、地域建設業の健全で安定した経営基盤の構築が不可欠であることから、持続的な発展ができるよう、公共事業の安定的・継続的な確保をお願い申し上げます。

これからも我々組合員一同、日々研鑽を積みながら、組合訓であります「信頼・協調・誠実」を合言葉に建設産業をアピールし、災害時には行政と共に迅速に対応できる、強固な体制づくりを目指してまいります。そのためにも、組合員の育成

河原崎理事長は、埼玉県の道路陥没はいまだ復旧のめどが立っていないと聞きますが、あの事故を見るだけでもインフラ整備が大切であることがわかります。市民の安心・安全を守る産業としてわれわれの業界も期待を寄せられています。物価高騰、人手不足など厳しい状況にあり、安定した



9月8日(月)に理事長、副理事長3名と事務局で富士宮市役所を訪ね、須藤秀忠富士宮市長、佐野和彦市議会議員に次の内容の要望書を提出しました。



経営基盤を構築していくため行政の理解と育成支援をお願いしたいと挨拶をし、市のご理解と協力をお願いしました。10月21日(火)の当組合の理事会に、富士宮市役所契約管理課長、契約係長、工事検査課長に出席いただき、要望について富士宮市として、適正な競争による適正価格での受注及び適正な履行の確保等を十分に検討したうえで、その後の説明を受け、その後意見交換をおこないました。

強化に更なるお力添えを賜りたく、次の事項についてご要望いたしますと共に、貴職の益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

記

要望事項1

国土交通省は、公共工事施工時期の平準化に関する必要な措置を講ずることができるよう、全ての地方公共団体における平準化の進捗・取組状況を「見える化」して公表しています。これによると、令和5年度の富士宮市の公共工事の平準化率は0.58となっており、目標値の0.8にはまだまだ開きがあります。労働力不足対策や建設業者の経営の健全化等に寄与し、ひいては公共工事の品質確保につながるものですので、更なる平準化をお願いしたい。

要望事項2

小規模工事や修繕工事を発注する場合、土木工事標準積算基準等による㎡単価等で積算をしていると思いますが、現場の実施作業や手間等と単価(価格)が大きくかけ離れていることが多いので、小規模や修繕の積算は現状に合った見積等で積算し発注して頂きたい。

要望事項3

富士宮市役所発注の建設工事において、役所の

工事担当者によって工事の変更に伴う設計変更の決裁や指示書等の書類の遅れが非常に多く、その結果工事(現場)は完了しているにも関わらず、役所の工事担当課の都合で工期の延長になった現場が多々あります。これによって、昨今の技術者不足問題をかかえる中、余計な工期延長により、次の工事物件への参加申請が出来ず予定が狂ってしまいますので、工事(現場)完了後の工期延期はしない様にお願いしたい。

要望事項4

現状では、特定のメーカーの材料が指定されることにより、施工できる業者が限られ、実質的に特定の業者による独占状態が生じております。特定の材料メーカー指定の見直しと競争原理の導入のため、可能な限り特定のメーカーに限定せず、複数のメーカーの製品が選択できるよう、設計、仕様書の見直しをお願いしたい。これにより、公正な競争が促進され、より適正な価格での工事実施が可能となると考えます。

令和7年9月8日

富士宮建設業協同組合
理事長 河原崎 利光

要望の回答

【要望事項1回答】

要望書のとおり、本市の公共工事の平準化率は中部地方整備局が示す目標値0.8を目標に設定していますが、令和5年度は0.58、令和6年度は0.63にとどまり、目標との差は依然として大きいと認識しています。令和6年度において県内でこの目標達成が見込まれる自治体は、政令指定都市の静岡市及び浜松市のほか南伊豆町の2市1町のみであり、多くの市町は富士宮市と同様の状況にあります。

平準化に向けた方策としては、国土交通省が「債務負担行為の活用」、「柔軟な工期設定」、「速やかな繰越手続き」、「積算の前倒し」、「早期執行のため目標設定」等を示しています。これを受け、当課では令和2年度以降、毎年10月に市の全部署を対象に開催している翌年度当初予算編成説明会において、工事の早期発注や適正な工期設定を要請しています。

また、原則として市の予算は同一年度内で完結することが前提となりますが、複数年度にわたる事業については債務負担行為を活用し、無理な工期を検討することのないよう周知しております。このような取組を継続することにより、引き続き市全体として平準化の推進に努めてまいります。

【要望事項2回答】

公共工事の発注にあたっては、積算基準等に基づく適正な積算根拠が求められることについて

は、何卒ご理解いただきたいと思っております。

ただし、標準的な積算基準と現場の実情との間に大きな乖離が見られる場合の再入札にあっては、積算基準の適用条件を確認したうえで、必要に応じて見積書等を徴取し、発注内容との比較検討を行うなどの対応をしております。

その際には、単に金額の多寡だけでなく、設計内容と見積条件や積算根拠、市場価格との整合性、過去の類似工事との比較などを総合的に勘案し、見積もりの妥当性を適切に判断したうえで、採用の可否を検討してまいります。

【要望事項3回答】

本市では、建設工事の設計変更及び変更契約事務について「富士宮市建設工事設計変更事務取扱要領」及び「富士宮市設計変更ガイドライン」に基づき、事務の適正化と合理化に取り組んでまいりました。

また、当該取扱要領においては、比較的小規模な一定の設計変更を「軽微な設計変更」と定義し、合理化の観点から、工事完成までに対応可能なものと位置付けております。

これにより、工期終盤における契約金額の変更が多くなる傾向については把握しており、これまでも速やかな指示書の交付や、余裕をもった変更契約の締結が行われるよう、関係課への指導を行ってまいりました。

しかしながら、工期終盤間際の工期延長及び変更契約事務、指示書の交付手続き等により遅延が

生じるような事案が繰り返される場合には、発注者として重大な課題であると受け止めております。

つきましては、今後更に関係各課への指導を徹底するとともに、現在試行中の情報共有システムを積極的に活用し、効率的かつ合理的な事務処理の促進を図り、適正な契約・工事管理の運用に努めてまいります。

また、組合員各位におかれましても、情報共有システムの積極的な活用、余裕をもった現場管理及び変更契約に必要な出来形図等の資料提出時期の前倒しに協力いただき、完成書類の遅滞がない提出に御協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

【要望回答4】

現場の特性上、機器等に必要な性能や既存設備との互換性等の条件から、やむを得ず特定のメーカーに限定せざるを得ない案件があることについては、何卒御理解いただきたくお願い申し上げます。

一方、そうした特段の条件がない工事においては、特定メーカーの指定を避け、同等品での対応が可能である旨を設計図書に明記するなど、複数のメーカーから選定できるような設計とするよう、今後も関係各課に対して指導を徹底してまいります。

女性部会活動

女性部会長 柳丸進建設
塩川 紀江

新春を寿ぎ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

組合員の皆様には、常日頃から女性部会の様々な活動に對しまして、ご協力をいただき心より感謝を申し上げます。振り返りますと昨年は、様々なことがありました。大阪・関西万博が開催され、34年ぶりに世界陸上が東京で開催されました。野球好きの方（特にメジャーリーグ）には、素晴らしい一年だったのではないのでしょうか。3月18日東京で開幕戦が行われ、ドジャースの大谷選手が大活躍されました。ワールドシリーズ2連覇おめでとうございます。日本中が歓喜で沸きあがりました。また、女性初の高市総理大臣が誕生し、一気に政府の支持率が上がり、国民の期待度が高まりました。

主婦の目線では、お米問題が深刻であったように思いますが、例年の倍の金額に高騰し、5kgで2,500円前後の相場が、5,000円前後くらいに跳ね上がりました。政府は、備蓄米を放出し、店頭では5kg2,000円前後で売りに出されました。

運が良いのか悪いのか、いわゆる政府の備蓄米については、スーパーやコンビニなどの小売店で、一回も見たことがありませんでした。ゆえに購入したことも食したこともありません。お米売り場の棚が、ガラガラだった様子は何

度も目にしましたが、備蓄米を一度も手にしたことがありませんでした。実家でお米を生産している方や、生産者から直接お米を購入している方は、スーパーのお米売り場にはあまりご縁がないかもしれませんが、一般の消費者は、少しでも値段の安いお店へ出向き、長蛇の列に並んだりして大変ご苦労されたと思います。ご飯の代わりに、パン・パスタ・うどんなどの小麦製品の使用頻度を増やして、日々の献立を考えたとお聞きしました。

今回のおコメ騒動で、「古米」にあらず「古古米」「古古古米」という言葉を初めて耳にしました。ちなみに、昨年の令和7年に生産されたお米ですが、年を越すと「新米」とは呼べなくなるので、現在「新米」は存在していないことになりました。今年の秋にまた令和8年「新米」が顔を出すまでには、もう少し価格が落ち着いてくれればと思います。

でも、いくらが適正な価格なのでしょう？消費者は少しでも安いほうが良いかもしれませんが、生産者はどうでしょう。円安の影響で、肥料やエネルギーが値上がりし、労働者の最低賃金も少しずつですが上がってきています。次世代を担う人材を確保し、育成していかなければなりません。農業者の高齢化も進んでいると聞きます。建設業にも言えると思いますが、ある程度の利益は必要で、業に携わ

る方々の生活が保障され、多少の内部留保も持てる状況を作れるような、適正な価格で販売をお願いしたいです。高過ぎるのも安過ぎるのも考えものです。

余談になりますが、鶏卵1パック（10個入）は250円、300円になりました。猛暑の影響や鳥インフルとかで大量の鶏が処分されたことが要因のようです。食料品の中では昔から優等生と呼ばれ、何年もの間1パック100円前後で販売されてきました。スーパーの特売で1パック98円・78円で販売されていたのは記憶に新しいと思います。しかしながら、今の金額が適正であり、以前の金額が安すぎたのだという方がいるのも現実です。

物の値段は、安いに越したことはありませんが、安売りのことでは、以前に経験しましたデフレスパイラルに陥っては元も子もありません。物価が上昇し、会社の収益が増え、賃金が上昇する、そんなプラス思考の流れになってほしいと願うばかりです。為替の変動も、もう少し円高にならないと、輸入品の価格が上昇するだけで、会社の収益が上がりませんので、少しずつでも円高になってくれればと思います。

今年は昨年、2月にはイタリアで冬季オリンピックが開催され、日本選手に大きな期待が集まります。3月にはNTTドコモの3Gサービス（ガラケー）、「FOMA」iモ

ード」のサービスが終了します。うれしいニュースもあります。一昨年（令和6年）に発生した能登半島地震で、大きな被害を受けた七尾市和倉温泉「加賀屋」が、時期は未定ですが、本年中に営業を再開の予定だそうです。

2026年が皆様にとりまして、天高く飛躍の年となります。心よりお祈り申し上げます。女性部活動におきましても、引き続きご協力を賜りますよう、今年もよろしくお願い申し上げます。

☆ボランティア活動
支援学校・花植え令和7年5月26日（月）
11月10日（月）

県道414号線（旧国道139号線）沿いの「植えやす」事業の花苗（夏花・冬花）の植え替え作業に、それぞれ参加協力いたしました。これは、富士宮市環境部花と緑と水の課が、県立富士宮北高等学校及び県立特別支援学校富士宮分校へ依頼し、年2回学校の生徒さん



夏の花植え



冬の花植え



土へ植えようとしたので、植える手順やコツをレクチャーしながら一緒に植えていきました。あつという園の時間でしたが、11個のプランターには、奇麗な花が咲きそろいました。プランター各々は、植えた花の種類も並び具合も違います。植えた方の感性によって違い、二度と同じ並びは無いと思われま

は微笑ましく、不思議とほっこりした気持ちになります。若者からエネルギーをいただいたことで、さらなるパワーアップをして日々精進出来たらと思います。

今回は実現されませんが、夏の花を植えてから冬の花を植えるまでの間に、草取りの作業が予定されておりま

生徒さんが植え替え作業を行っている事業です。道路沿いには大小合わせて19個の花壇があり、北高が北部分8個を支援学校が南部分11個をそれぞれ担当しています。女性部では、毎回、支援学校の生徒さんが授業の一環として行う花植え作業のお手伝いを行っております。

夏花の植替えは、R5年・R6年と天候不良（雨）のために作業に参加できませんでしたが、2年ぶりのボランティア活動になりました。当日は、曇りとなり気温も暑からず寒からずで、花植えにはベストな天候でした。

会員12名の皆様は、支援学校の生徒さん11名と一緒に、ベゴニア217本・ポインチラ220本、そして、シニア（百日草）220本の3種類657本を植えました。支援学校の生徒さんの中には、初めて花植えをされる方もおり、花の苗をプラスチックのポットから出さずに、ポットに入ったそのままの状態

で、平成26年からこの花植え作業にボランティア活動の一環として参加していますが、今年で早11年、そして夏・冬合わせて20回目の参加となりました。毎回一緒に花植えをする生徒さんは変わりますが、一生懸命に作業を行う姿

が、なかなか手回りの作業になります。花と花の間隔が広がったり狭かったり、うまく広からず狭からずの間隔に調整をしていきます。位置が決まりましたら一気に植えていきます。前日の雨のお陰で土が柔らかいので、移植ゴテを使わずに手で土を掘起こして穴を作り、花苗を植えていきました。

その後も8月・9月・10月と支援学校横を車で通るときには、必ず花壇をチェックしていましたが、草はほとんどなく花本体も暑さで弱ってきているようでした。今思えば、暑さのせいもあったでしょうが、どなたか草が小さいうちに取ってくださっていたの

日本産業規格認証取得工場
コンクリート用砕石及び砕砂

静甲工業(株)

本社：〒419-0315 静岡県富士宮市長貫 699-1
TEL (0544) 65-1000 内
南部工場：〒409-2303 山梨県南巨摩郡南部町十島 2450
TEL (0556) 67-3201 内

太陽建機レンタル株式会社
富士宮支店

静岡県富士宮市西小泉町 23-1
TEL: 0544-26-5011
FAX: 0544-28-0102

田口建材株式会社

代表取締役 田口 敏 寛

事務所 静岡県富士宮市村山 269-1
TEL (0544) 23-6262 ~ 3
FAX (0544) 27-1020

MUCC 株式会社 富士宇部

代表取締役 中村 宏 昭

〒421-3304 静岡県富士市木島 258 番地
TEL 0545-56-0033(代) FAX 0545-56-2800

生コン事業部 富士工場 静岡工場 掛川工場 東伊豆工場
工事建材事業部 地盤改良工事・杭工事・鋼管工事



か、迷宮入りとなつてしまいました。今年、どうなることが分かりますが、参加者の皆様とご相談しながら進めていけたらなと思っています。夏花と冬花の花植えボランティア活動は、引き続き行ってまいりますので、皆様のご協力をいただければ幸いです。

作業当日は、寒気が上空に入り込み、寒さが厳しくなるという天気予報で、風は冷たかったですが、それ以上に太陽の光を浴びながらの作業は、予想に反して暖かくとても心地の良いものでした。2か所の花壇に、こちらで用意した苦土石灰・化成肥料をまき、土に混ぜ込む作業からです。大小2か所の花壇です。3人と6人に分かれての作業となりました。縦1・5m×横7mの大きい花壇には、「高原荘」様がご希望されたピオラの花を多く使用し、その他の色のピオラも含め270本余りを植えました。縦

0・7m×横5mの小さい花壇には、様々な色がミックスされたピオラを100本余り植えました。

当初に「高原荘」様から依頼のありましたチューリップの球根の扱いについては、小さい花壇の花の苗の間隙に200球を超えるたくさんの球根を植え込みましたが、それ以外にもプランター2台へ30球の球根を植えました。さらに、アリウムの球根も植えたということでしたので、大きい花壇の奥の隙間に花壇の淵に沿うように植えました。植えた時点ではまだ何も見えませんが、今年の春には皆さんの球根が成長して花開き、ピオラとの共演が楽しみです。

特養「高原荘」・花植え
令和7年11月18日(火)
富士宮市貴戸にありまます特別養護老人ホーム「高原荘」を訪ね、花壇の花植え及びプランターへの球根の植付けの作業を行いました。前回の訪問は、平成29年11月です。8年前となりまます。

特養「高原荘」・花植え
令和7年11月18日(火)
富士宮市貴戸にありまます特別養護老人ホーム「高原荘」を訪ね、花壇の花植え及びプランターへの球根の植付けの作業を行いました。前回の訪問は、平成29年11月です。8年前となりまます。

市内にありまます特別養護老人ホームの花の植替えは、平成26年から開始して2週目を迎えています。1番最初に訪問しましたのは、大岩にありまます「かりんの家」でした。何もかもが初めてでしたので、当時の小松みさを会長と事務局で訪問した際には、とても緊張したのを覚えていまます。もちろん事前にコンタクトを取ってからの訪問です。こちらの意向がうまく伝

今回は、9名の参加をいただきました。お忙しい中でのご参加、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。



わらうか、説明が早くになつてしまわないだろうか、施設側の意向を引き出しできるだろうかとかの諸々の理由からです。

特養の花植えは、最低3回は施設を訪ねています。1回目は挨拶をして、できれば花を植える場所をお聞きして探します。2回目は、花壇の状況を確認しに行きます。3回目は、花植えのプラン書をお持ちして説明をし、確認します。そして、作業当日となるのですが、施設側の意向をくみ取り、ご希望に沿うことをなるべく心がけていまます。

参加者の皆様は、ボランティア活動を通じて、お知り合いになつた方もおられると思います。1丁の普及により便利にはなりましたが、人とのつながりが希薄になりつつある昨今、太陽のもとで土と戯れ、親睦を深める一助になればなと思っています。

お忙しい中、ご参加してくださる皆様、そして職員の方を快く派遣してくださる社長様、本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



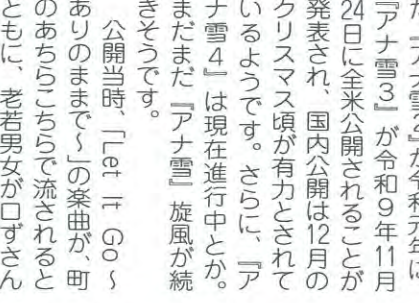
令和7年8月1日(金)
昨年8月1日、「アナと雪の女王」鑑賞ツアーに参加し、東京の四季劇場「春」において観劇をしてきました。一昨

年は、これまで長年休止状態でした施設研修が7年ぶりに復活し、劇団四季の看板作品であるミュージカル「キャッツ」静岡公演を観劇しましたので、第二弾となります。

今回は、旅行社が主催するツアーに小人2名を含む14名で参加しました。豊洲千客万来にて、各自において自由に昼食をとり、散策を行い、劇団四季ミュージカル「アナと雪の女王」(以降「アナ雪」と表示)の観劇です。「アナ雪」は、平成26年に53作目のデイズ二長編アニメーション映画として劇場公開されました。「アナ雪2」が令和元年に「アナ雪3」が令和9年11月24日に全公開されること発表され、国内公開は12月のクリスマス頃が有力とされているようです。さらに、「アナ雪4」は現在進行中とか。まだまだ「アナ雪」旋風が続きそうです。

公開当時、「Let It Go」のありのままで、の楽曲が町のあちこちで流されるとともに、老若男女が口ずさんでいたのを思い出します。当日は、台風9号の接近に伴う雨・風が心配でしたが、駐車場から劇場へ向かう通路で少し濡れたくらいで、それ以外は傘もいらない状態でした。会場入りし2階席から見渡すと、夏休み中ということもあり、子供連れの方が多いように感じました。アナやエルサやオラフのぬいぐるみなどのグッズを買ってもらった

ようで、会場で笑顔いっぱいであつた子供たちの声が響いていました。開演すると大人も子供も楽しめる素晴らしいショータイムでした。演者・照明・効果・大道具・小道具とそれぞれのパートが見事に一つになり、映画の世界を映しだしてました。来年の令和9年1月17日、ついに千秋楽を迎えます。



「アナ雪」が令和元年に「アナ雪3」が令和9年11月24日に全公開されること発表され、国内公開は12月のクリスマス頃が有力とされているようです。さらに、「アナ雪4」は現在進行中とか。まだまだ「アナ雪」旋風が続きそうです。

「アナ雪」が令和元年に「アナ雪3」が令和9年11月24日に全公開されること発表され、国内公開は12月のクリスマス頃が有力とされているようです。さらに、「アナ雪4」は現在進行中とか。まだまだ「アナ雪」旋風が続きそうです。

「アナ雪」が令和元年に「アナ雪3」が令和9年11月24日に全公開されること発表され、国内公開は12月のクリスマス頃が有力とされているようです。さらに、「アナ雪4」は現在進行中とか。まだまだ「アナ雪」旋風が続きそうです。

「アナ雪」が令和元年に「アナ雪3」が令和9年11月24日に全公開されること発表され、国内公開は12月のクリスマス頃が有力とされているようです。さらに、「アナ雪4」は現在進行中とか。まだまだ「アナ雪」旋風が続きそうです。



組合員の皆さんに、ご協力をお願いしましたのが昨年10月末になります。1社あたり15枚を目安にご提供をお願いしたところ、362枚が集まりました。ご協力ありがとうございます。一昨年からのご協力も含まれますと、総数395枚になりましたので、お寄せいただきましたその中から、タオル350枚を富士宮市に寄贈いたしました。

当日は、塩川会長をはじめ女性部役員(清・小松・鈴木・遠藤)の5名が市役所保険福祉部を訪問し、稲垣部長にタオルを手渡しました。

当初の平成5年は、直接福祉施設に雑巾をお届けしていましたが、平成7年からは富士宮市へ寄贈しています。さらに平成10年からは、雑巾の

「コーラスライン」が8月に、そして浜松公演が12月に開催予定です。少しでも多くの皆様が楽しめるイベントを計画していきますので、アイディア・ご意見などお待ちしています。

「コーラスライン」が8月に、そして浜松公演が12月に開催予定です。少しでも多くの皆様が楽しめるイベントを計画していきますので、アイディア・ご意見などお待ちしています。

「コーラスライン」が8月に、そして浜松公演が12月に開催予定です。少しでも多くの皆様が楽しめるイベントを計画していきますので、アイディア・ご意見などお待ちしています。

「コーラスライン」が8月に、そして浜松公演が12月に開催予定です。少しでも多くの皆様が楽しめるイベントを計画していきますので、アイディア・ご意見などお待ちしています。

「コーラスライン」が8月に、そして浜松公演が12月に開催予定です。少しでも多くの皆様が楽しめるイベントを計画していきますので、アイディア・ご意見などお待ちしています。

「コーラスライン」が8月に、そして浜松公演が12月に開催予定です。少しでも多くの皆様が楽しめるイベントを計画していきますので、アイディア・ご意見などお待ちしています。

「コーラスライン」が8月に、そして浜松公演が12月に開催予定です。少しでも多くの皆様が楽しめるイベントを計画していきますので、アイディア・ご意見などお待ちしています。

「コーラスライン」が8月に、そして浜松公演が12月に開催予定です。少しでも多くの皆様が楽しめるイベントを計画していきますので、アイディア・ご意見などお待ちしています。

物品寄附受納書
富士宮建設業協同組合女性部
会長 塩川 紀江 様
タオル 350枚
今般、上記物品を御寄附いただき、誠にありがとうございます。
当物品につきましては、御寄附の趣旨に沿って有効に活用させていただきます。
令和7年12月9日
富士宮市長 須藤 秀 彦

今後も継続して行つてまいりたいと思つていますので、組合員の皆様のご協力をお願いいたします。

今後も継続して行つてまいりたいと思つていますので、組合員の皆様のご協力をお願いいたします。

今後も継続して行つてまいりたいと思つていますので、組合員の皆様のご協力をお願いいたします。

今後も継続して行つてまいりたいと思つていますので、組合員の皆様のご協力をお願いいたします。

今後も継続して行つてまいりたいと思つていますので、組合員の皆様のご協力をお願いいたします。

◎資源を大切にしよう
建設廃材中間処分(県)認可第2221002450号
再生砕石販売
富士宮建設業協同組合
静岡県富士宮市山宮961-10
事務所 TEL (0544) 58-4785
プラント TEL (0544) 58-4072

子供の頃のような、あふれる想像力で...
あなたのこころをカタチにします。
MIND CREATION~こころをカタチに~
前田道路株式会社 富士合材工場
〒417-0846 静岡県富士市今井 434-1
TEL (0545) 33-0627 FAX (0545) 33-0630
合材・常温合材・路盤材・乳剤販売 AS塊・CO塊受入

建設、土木資材、CO・ASガラ・土工工事請負
丸工砂利販売株
〒418-0036 静岡県富士宮市沼久保398番地
TEL:0544-27-2097 FAX:0544-23-3761
HP-URL:https://marue-gp.com

重機土木工事一式・各種骨材販売
解体工事・建設廃材収集運搬
静岡県(株)63-第23160号 (県)第9201045463号
株式会社 丸喜建材
富士宮市山宮961-10
TEL (0544) 58-2154
FAX (0544) 58-6385

優良工事受賞者

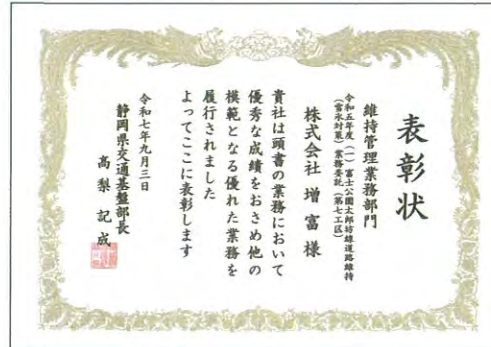
静岡県、富士宮市等の公共団体より、工事の品質・出来形・安全管理、創意工夫及び地域貢献度等に対し、成績優秀で、他の模範となる工事として2025年に表彰された皆様を紹介します。

静岡県交通基盤部 維持管理業務部門

令和5年度（一）富士公園太郎坊線道路維持
（雪氷対策）業務委託（第7工区）

（株）増 富

代表取締役……増田 隆俊
現場代理人……望月 信孝
主任技術者……増田 隆俊



富士宮市建設工事表彰 優秀賞(建築部門)

令和5・6年度 富士宮市宮万野住宅建設工事
E棟工区(建築工事)

（株）大石組

代表取締役……清 哲也
現場代理人……四條 孝尚
監理技術者……向田 泰隆



（株）三与建設

富士宮市建設工事表彰 優秀賞(建築部門)

令和5・6年度 富士宮市立富士見
小学校 屋内運動場改築工事

代表取締役……三尾 祐一
現場代理人……遠藤 毅
監理技術者……清 重雄



富士宮市建設工事表彰 優秀賞(土木部門)

令和5年度 社会資本整備総合交付金
事業 駅前歩道橋耐震補強工事

代表取締役……三尾 祐一
現場代理人……角田 秀夫
主任技術者……角田 秀夫



富士宮市建設工事表彰 優良賞

令和6年度 一般市道大久保32号線
改良工事

(株)川俣組

代表取締役……佐野 孝
現場代理人……古賀 健大
主任技術者……古賀 健大



令和7年度富士宮市建設工事表彰式

富士宮市建設工事表彰式が令和7年6月10日(火)に総合福祉会館2階安藤記念ホールで行われました。



令和7年度 全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会において 優秀論文として表彰

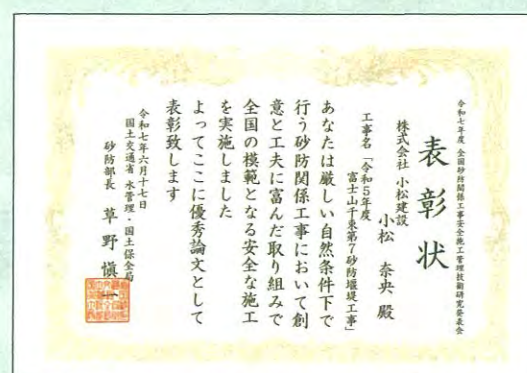
令和7年6月17日(火)に東京で行われた安全論文発表会で、(株)小松建設の小松奈央さんが優秀論文8編に選ばれ表彰されました。

富士砂防事務所長表彰を経て、各所長推薦による全国からの応募数353編からの選出です。

当日は会場にて論文の発表および表彰が行われました。

(株)小松建設

現場代理人
……小松 奈央



令和7年度 全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会

- 砂防工事に従事していた多くの作業員が犠牲となった平成8年蒲原沢土石流災害を契機に、施工条件が厳しい砂防工事における安全確保について、行政と民間の共同のもと、様々な研究や対策が取組まれてきた
- これら取組みの成果を広く共有し、関係者がともに技術の研鑽を図ることで、砂防工事における安全性向上に寄与することを目的とし、平成11年から研究発表会を開催（平成26年度からは「土砂災害防止月間」の行事として実施）

■ 実施概要

開催日時：令和7年6月17日（火）13:30～17:00（対面＋ライブ配信：試行）
会 場：九段第3合同庁舎11階共用会議室（東京都千代田区）
主 催：全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会実行委員会
主な内容：発注者による工事の安全管理等に関する講演
優秀論文の発表 全8編【直轄6編、都道府県2編】
有益な取組事例の紹介 1編
表彰式（国土交通省 砂防部長表彰）
砂防図書館への論文※寄贈

※全国各地の砂防関係工事安全対策協議会等が行う研究発表会等の論文（計61編）を編纂



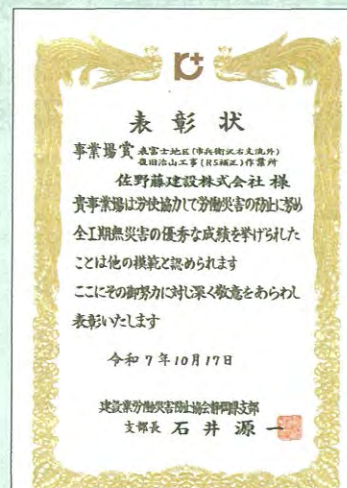
全国砂防関係工事安全施工管理 技術研究発表会の詳細

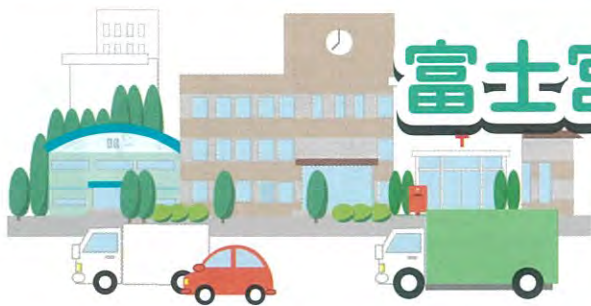
建設業労働災害防止協会 事業場賞

令和7年10月17日(金)に静岡市葵区で第52回静岡県建設業労働災害防止大会が開催され、佐野藤建設(株)様が安全表彰において、2025年度支部長表彰（事業場賞）を受賞しました。

佐野藤建設(株)

表富士地区
(市兵衛沢右支流外)
復旧治山工事
(R5補正)作業所





富士宮建設業協同組合の 1年の活動

令和7年



平成30年7月1日にコアレックス信栄株式会社さんと「廃棄機密書類の委託業務契約」を締結し、12社の組合員さんがリサイクルシステムの活用をスタートさせ、令和6年は50箱（310kg）、7年は51箱（280kg）で合計101箱（590kg）の機密文書の処理を行いました。組合員の皆様で機密書類の処理を希望される場合は

機密文書処理 リサイクルシステムの活用

組合までご連絡ください。（年1、2回程度実施予定）
これから、機密文書の適切な処理とリサイクル活動を推進してまいります。



私達の組合からも21、22日の2日間、皆様の協力により17台のダンプ及び土砂整地用のバックホウが動し、市中からでた土砂処理86トン（22台）、路線清掃による可燃物・不燃物、不法投棄「ミミ」70トン（15台）の搬出を行いました。

組合員の皆様にはご協力をいただき、大変ありがとうございました。



第61回清掃運動

令和7年4月19日（土）
23日（水）

毎年「環境美化の日」に実施されている清掃運動を、今年度は市内各地域で4月19日～23日まで5日間市内全域で展開されました。

重点日である4月20日（日曜日）の清掃運動には、市内125区の3万2、329人の市民が参加し、地域の河川や道路の清掃に汗を流しました。

防災訓練

富士宮市総合防災訓練の一環として、令和7年9月1日（月）に無線連絡訓練、9月9日（火）に災害時相互応援に係る情報伝達訓練とし

て、協力要請および出勤要請に係るメール伝達訓練を実施しました。

道路パトロール業務

令和6年度の富士宮市道路点検維持補修業務の実績は、路面の穴埋め2,545箇所（前年比1.29倍）、路面の剥離箇所補修3,863箇所（前年比3.2倍）、側溝の清掃52箇所（前年比1.3倍）、側溝蓋の騒音防止等57枚（前年比0.5倍）、草刈除草・街路樹剪定63路線（前年比1.8倍）、カーブミラー修整42枚（前年比1.05倍）となりました。

これからも市民の皆様が道路を安全に利用できるように、道路パトロールを実施し、迅速な補修等の対応に努めてまいります。皆様からの情報もお待ちしています。



ホームページ

富士宮建設業協同組合

<https://fujinomiya-kensetsu.com/>
E-mail: miya-ken.s48@leaf.ocn.ne.jp
皆様からのアクセスをお待ちしております
〒418-0005 富士宮市宮原470-5
TEL 0544-27-5526

組合員を募集しています!!
入会希望の方は上記迄。

重機土木工事一式・骨材販売 解体工事一式

株式会社 丸 芳

代表取締役 佐野 裕 亮

〒418-0047 静岡県富士宮市青木1186番地の1
TEL (0544) 27-6048(代)
FAX (0544) 27-8068

人と環境にやさしいものづくり

各種アスファルト合材製造・販売 常温合材
アスファルト乳剤 アスファルト廃材中間処理

株式会社 リサイクル芝川

〒419-0315 静岡県富士宮市長貴551-1
TEL (0544) 65-0850・FAX (0544) 65-1882



watanabe

株式会社 渡邊

県知事許可（般-3）第21303号

代表取締役 渡邊 智 司

〒418-0022 静岡県富士宮市小泉1853-16
TEL (0544) 24-5123 FAX (0544) 23-3715
<https://www.pro-watanabe.co.jp>

ゴルフコンペ開催

令和7年7月24日(木)

組合員の親睦を深めるため毎年恒例のゴルフコンペを、朝霧ジャンボリーゴルフクラブにおいて12名の参加により開催いたしました。結果はつぎの通りです。



優勝 (株)川俣組 佐野 喜郎
準優勝 事務局 望月 明彦

令和7年11月27日(木)

令和7年2回目の親睦ゴルフコンペを、朝霧ジャンボリーゴルフクラブにおいて12名の参加により開催いたしました。結果はつぎの通りです。



優勝 宮鉄建設(株) 遠藤 壽男
準優勝 (株)川俣組 佐野 喜郎

第52回 通常総会



平成7年5月20日(火)午前10時から組合会議室において第52回通常総会が開催されました。「第1号議案 令和6年度事業報告、令和6年度決算及び決算諸表並びに剰余金の処分(案)について」「第2号議案 出資金の増減について」「第3号議案 令和7年度事業計画(案)について」「第4号議案 令和7年度予算(案)について」「第5号議案 令和7年度会費の賦課額及び、徴収の時期について」「第6号議案 令和7年度の組合借入金最高限度額について」「第7号議案 役員の変更について」の7議案のすべてが可決決定されました。



富士宮建設業協同組合役員および組合員名

〔役員〕

相談役

(株)大石組 清 哲也

(株)小松建設 小松 實

理事長

河原崎建設(株) 河原崎利光

副理事長

(株)丸進建設 塩川 進

(株)三与建設 三尾 祐一

(有)渡邊建設 渡邊 定賢

理事

(株)加瀬澤組 加瀬澤 理

(株)小松建設 小松 奈央

佐野藤建設(株) 佐野 哲也

拓進建設(株) 佐野 裕康

(有)坪井組 坪井 孝文

(株)山本組 山本 篤

監事 (株)大石組 清 英基

(株)増富 増田 隆俊

〔組合員〕

(アイエエエ) 令和8年1月1日現在

(株)旭建設 石川 真司

永将建設(株) 永田 真一

(株)大石組 清 哲也

(有)権工務店 佐野 郁男

(株)加瀬澤組 加瀬澤 理

河原崎建設(株) 河原崎 鉄平

(株)川俣組 佐野 孝

(株)小松建設 小松 實

齊藤建設(株) 齊藤 宗一

佐野藤建設(株) 佐野 哲也

(株)鈴木組 鈴木 統太

(株)大栄建設 伊藤 勇

拓進建設(株) 佐野 裕康

(有)坪井組 坪井 孝文

(株)坪井土建 坪井 多恵子

光建業(株) 並木 慎太郎

(株)増富 増田 隆俊

(株)丸進建設 塩川 進

(株)三与建設 三尾 祐一

宮鉄建設(株) 遠藤 秋芳

無双建設(株) 加藤 史久

明德建設(株) 河西 幸一

(株)森下建設 森下 富代

(株)山本組 山本 篤

(有)渡邊建設 渡邊 定賢

編集後記

事業・広報委員会 副委員長

(有)坪井組

坪井 孝文



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

今年も広報「建設ふじのみや」の発行にあたり、ご多忙中にも関わらずご寄稿頂きました皆様、広告を出して頂きました協力業者の各位、また組合員の方々の多方面にわたるご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私たち建設業に携わる者は、地域の安全と安心を支える使命を担い、日々現場で汗を流しております。近年、自然災害の激甚化や人手不足、資材高騰など、業界を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、こうした時代だからこそ、仲間との協力と信頼がこれまで以上に重要になっております。ひとつの現場を完成させるには、多くの業種・多くの人の力が欠かせません。互いに支え合い、高め合う関係こそが、地域建設業の大きな力となります。

当組合では、これからの時代に対応するため、若手人材の育成や技術継承、安全意識の共有など、業界全体の底上げを目指す取り組みを進めております。また、地域との連携を強め、まちづくりや災害対応、ボランティア活動などを通じて、地域社会から信頼される存在であり続けたいと考えております。

今後も、組合員一人ひとりが誇りを持って働ける環境づくりを進めるとともに、業界全体が持続的に成長できるよう、行政・関係団体との連携をより一層深めてまいります。そして、「地域に必要とされる建設業」「次の世代へ胸を張ってつなげられる建設業」を目指し、皆様とともに歩んでまいります。

結びに、本年が組合員の皆様にとって、健康で実り多い1年となりますことを心よりお祈り申し上げますとともに、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。